

就労継続支援研修

ハラスメント研修



Zoom
オンライン
開催

- 何故、ハラスメントは起こるのでしょうか！？
- それってハラスメント？家族の職員に対する態度や発言は、本当にハラスメントなののでしょうか！？
- 新任職員が早期退職した原因は、上司等によるハラスメントかもしれないと考えたことはありますか？



講師

貝塚ケアサービス研究所 代表

貝塚 誠一郎 氏

講師紹介

1989年、特別養護老人ホームの介護職員としてキャリアをスタートさせる。その後、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問介護などを経て、2001年よりNPO法人を母体とするグループに所属し、専務理事・取締役としてグループホーム・有料老人ホーム等の開設・運営並びに職員採用や教育に携わる。並行して執筆活動や他事業者の運営指導(特養など)にもあたる。この間、面接した人数は3000名を超える。

研修の主なテーマ

- 【全体】皆さんの施設は大丈夫ですか？介護施設におけるハラスメントを考える！
- 【利用者・家族】それって本当にハラスメントなのだろうか？
- 【職員】部下や新任職員に合わせた指導・教育等、人材育成を行っていますか？
- 【利用者・職員等】利用者のニーズやエビデンスに基づいたサービスができていますか？
- 【家族】家族支援に力を入れていますか？
家族とのコミュニケーション不足が課題でハラスメントではないかもしれません！
- 【全体】ハラスメントのない職場にしよう！

日時

2021年10月7日(木) 13:30~15:30

- 参加費 : 2,000円(会員)、4,000円(一般)
- 対象者 : 町田市内高齢者福祉施設・介護保険事業所職員等
- 参加要件 : オンラインで研修を受講できる環境・設備があること
- 定員 : 30名(先着)
- 申込方法 : 9月23日(木)までに町田市介護人材開発センターのホームページより
ホームページ <https://machida-kaigo.org/>
Home画面⇒「学ぶ・資格」⇒「研修案内」⇒「ハラスメント研修」⇒「申し込み」
- 受講決定の連絡 : 申込時に指定されたメールアドレスに参加費の振込先と一緒に送ります。
申込締切後、1週間以上たっても連絡がない場合は、事務局にご連絡ください。

お問合せ先 : 一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
町田市介護人材開発センター
TEL : 042-851-9578 FAX : 042-851-9578
Email : info@machida-kjkc.jp



ホームページURL

ハラスメント研修にあたり

上司から部下…、家族から職員…等、介護業界においても大きな問題です。

ハラスメント発生の原因の一つに、上司や先輩職員の“経験（経験値）”や、施設（法人）の人材育成等に関する方針や実践が乏しいことが考えられます（詳しくは研修内で…）。また、多くの施設で、介護従事者の不足と言う半永久的な課題を抱えていることもあり、（施設に）“ゆとり”や“人（職員ももちろん、利用者や家族も…）”大切にしようと言う方針のもとに仕事が進められているとはいいいがたい環境の施設がまだ多いのではないでしょう。いや、今の状況や進め方に疑問を持たない経営者や管理者等のリーダーも多く見受けられます。既に、ハラスメント発生の下地が完成されているのかもしれませんが。

ある施設の新任職員の話です。やりたい職業を見つけて資格を取得し、就職した施設。入職後すぐ、上司から“覚えが悪いなあ”“利用者としやべってないで業務に入って…”と言葉を浴びせられ、分からないことを聞くと“この前も言ったでしょ！”と一蹴され、聞きにくいと感じる関係に…。聞けないまま業務を進めると“勝手にやるな！”“まだ終わってないの？”と嫌味を言われました。こうした上司や先輩職員の発言等は、“指導”“教育”と呼べるのでしょうか。覚えが悪いことをなじられ続けられたら、新任職員はパワハラやモラハラとを感じるかもしれません。こうした先輩やリーダー職員の発言等は、指導でも教育でもないのです。

家族との関係はどうでしょう。親（利用者）のことで色々言いたいこと、お願いしたいことがあります。家族からの問いかけには返答する施設はたくさんありますが、関係性を良好にする（施設・職員から）積極的アプローチが欠けている施設が多く、その上にコロナ禍の中、面会等の出来ない状況になったことは、社会全体が理解していることとはいえ、その状況下に甘えている施設が目立ちます。

家族の気持ちは？利用者の気持ちはどうなのでしょう。職員も自粛生活が今も続いているのですが、離れて暮らす親の様子が気になる家族はたくさんいます。家族の思いに触れていますか？家族や利用者の心は穏やかな状態ではなく、会えないことでイライラした思いが溜まっているかもしれません。そんな時に家族からの強い発言や態度を、直ぐに職員へのハラスメントを受け取るのは早急であり浅いです。家族が職員や施設に“何でも”“いつでも”“誰にでも”話が出る関係がハラスメントを減らすことになるのです（詳細は研修内で…）。

皆さんの施設や職員は、コロナ禍の環境においても利用者のためにと頑張っていることは疑いの余地もありません。その頑張りを、一度、立ち止まり、現状を分析・整理して、客観的に見つめ直し、利用者サービス・家族支援・職員教育・新任職員の受け入れ方等、ハラスメントと言う課題を通じて考えてみませんか。

研修はオンライン開催となりますが、是非ご参加ください。当日、お待ちしております。